

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	知的財産権／リテラシー	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2 単位	開設時間	火曜3時限～	授業形態	講義
教科書/教材	教科書:ビジネス著作権検定公式テキスト／参考資料等は、授業中に配布する。				
担当教員情報					
担当教員	内田 祐生		実務経験の有無・職種	有・ディレクター	
学習目的					
この授業では、デザイナーまたは一社会人として、どのように知的財産権と向き合うかを学んでいく。また、デザイナーとして向き合うことになるメディア（インターネットメディア、テレビ等のマスメディア）と向き合うことを様々な事例を通して、それらの「読み取り方」を身につけることを目的とする。					
到達目標					
メディアの役割について、聴講および数人によるディスカッションを経て、自分自身の考えを言語化して、口頭発表できるようになる。著作権など法律が定められている内容について、理解し、必要な事柄の調べ方の技術を身につけて、自身の創作・デザイン活動に役立てることができるようになるのが目標である。					
教育方法等					
授業概要	授業では、メディアのリテラシー（読み取り方）について実例をみて学び、ビジネス著作権検定公式テキストを用いて法律について授業を行う。授業では、教員の講義を聴講すると共に、テーマに沿った内容についてディスカッションをしばし行う。				
注意点	必要な資料は各回用意するが、聴講内容やディスカッションでの内容をしっかりと記録すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は期末試験と評価を受けることができない。期末試験において60点未満の場合は再試験となる。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・レポート	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する		
	ワーク・小テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	オリエンテーション		授業の目的とスケジュール、また「メディアリテラシー」の意味と効果を理解する		
2 回	リテラシーについて①		マスメディアとして新聞について、その特性と変遷について理解する		
3 回	リテラシー②ラジオについて		マスメディアとしてラジオについて、その特性と変遷について理解する		
4 回	リテラシー③テレビについて		マスメディアとしてテレビについて、その特性と変遷について理解する		
5 回	リテラシー④SNSについて		FacebookやTwitter等のSNSについて、各メディアの特性と課題について議論し、自論をまとめる		
6 回	リテラシー⑤動画サイトについて		増加するネット動画メディアについて、各メディアの特性と課題について議論し、自論をまとめる		
7 回	リテラシー⑥広告について		新聞からネットまで、各メディアにおける広告表現の特性について議論し、自論をまとめる		
8 回	知的財産権①知的財産権とは		権利侵害の事例を通じて、知的財産権の必要性和デザイナーの役割について理解する		
9 回	知的財産権②著作権(1)		著作物の定義と、著作権法が定義する内容について理解する		
1 0 回	知的財産権③著作権(2)		既存かつ保護期間内の著作物を使った創造的な表現のあり方について議論し、自論をまとめる		
1 1 回	知的財産権④著作権(3)		デザイナーの一般的な仕事から生まれた作品を通して、著作物の使用の可否について理解する		
1 2 回	知的財産権⑤意匠権		産業財産権としての意匠権の役割と、意匠法が定義する内容について理解する		
1 3 回	知的財産権⑥商標権		産業財産権としての商標権の役割と、商標法が定義する内容について理解する		
1 4 回	知的財産権⑦知的財産権まとめ		ある製品を通して権利登録と、権利侵害のシュミレーションを行い、実践的な方法を理解する		
1 5 回	知的財産権⑧デザインとオリジナリティ		オリジナリティのある知的財産物がどのように生まれるのかを事例を通して理解する		